

XaaS -X as a Service- がひらく社会

和歌山地域経済研究機構

理事長 芦田 昌也

【和歌山大学経済学部長】



平素より、和歌山地域経済研究機構の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。日本国内では、2020年以降、新型コロナウイルス感染者数の増加・減少を繰り返し、ご支援いただいた研究活動にも少なからず支障をきたす状況が続いてきました。それでも、このところ（2022年11月）は、交通機関の乗降口などで、観光や出張等で遠方に向かう、あるいはこちらに到着したと思われる人々の姿を見かけることが増えてきたような感じがいたします。

コロナ禍において、様々な業務がインターネットを介して行われるようになりました。その業務システムの構築に、クラウドコンピューティングシステム（以下、クラウド）のひとつのサービス形態である PaaS（Platform as a Service）が寄与したと考えられています¹。PaaS は、業務で使用するアプリケーションソフトウェア（以下、業務用アプリ）を実行するための環境（プラットフォーム）を、インターネット経由で提供するサービスです。PaaS を利用する企業は、提供される環境に自前で調達した業務用アプリを導入して業務を行います。その環境は、一般には他社と共用する借り物ですが、調達、設置、管理、運用などのコストをかなり省くことができます。また、インターネットを経由すればどこからでも利用することが可能であり、テレワークへの緊急対応を必要とした企業にとって、コロナ禍における事業継続のための有力な選択肢の一つだったと考えられます。

クラウドには、PaaS の他に SaaS²、IaaS³といったサービス形態がありますが、近年は、これ以外にも XaaS として表記されるものも多く見られます。ある概念を表す英単語の頭文字が、X の部分に当てはめられます。代表例のひとつが MaaS（Mobility as a Service）です。国土交通省の説明を要約すると、「MaaS とは、（略）複数の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、（略）交通以外のサービス等との連携により、（略）地域の課題解決に資する重要な手段」⁴とされています。

日本は、クラウドの各種サービスの活用でも MaaS の取り組みでも、やや遅れていると見られています。和歌山地域においても、この遅れを取り戻すための研究を進めることが地域経済の活性化へとつながるものと考えております。本機構がその一端を担うことができれば幸いです。

¹ 「情報通信白書令和4年度版」p.80（総務省）

² Software as a Service. インターネット経由でソフトウェアを提供

³ Infrastructure as a Service. インターネット経由でハードウェアを提供

⁴ 「日本版 MaaS の推進」<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/japanmaas/promotion/>（国土交通省）